

七校便り

宮城県白石高等学校七ヶ宿校
No. 34
平成24年 9月15日

わらじで演奏

8月26日(日),『わらじで歩こう七ヶ宿』の閉会イベントで,ゴールした参加者を前に『七校バンド』が演奏を披露しました。

毎年演奏している本校の永井先生を中心に,今年は生徒4名が参加しました。曲目は,『わらじだけを』(あおい輝彦「あなただけを」の替え歌),七校卒業生の作詞作曲による『七ヶ宿慕情』,合唱組曲『湯ノ原の四季』より「夏の校庭」と「ボス猿・小猿」,『さんぽ』,水戸黄門のテーマ曲『ああ人生に涙あり』,スピッツの『空も飛べるはず』,『わらじで歩こう七ヶ宿』(ジョン・デンバー「カントリーロード」の替え歌)の計8曲でした。前半の4曲が永井氏のソロ,後半4曲が,生徒達を交えたアンサンブルでした。なお,替え歌の作詞は,すべて永井寛氏です。どの曲も,七ヶ宿にゆかりのあるものや,『歩く』と関わりのあるものでした。



左から,ベースの高野悠希君(2年 円田中),エレキギターの八巻寿生君(2年 南中),アコースティックギターの山家直人君(2年 福岡中),フォークギターの永井寛氏(教員),ボーカルの高橋里美さん(1年 七ヶ宿中)。後ろで拍子を取っているのが,夏休み中にバンドの技術指導をした亘理玲奈さん(教員)です。

生徒の集い

9月1日(土),仙台工業高校で,『第40回 生徒の集い』が開催され,本校からも,生徒会役員を中心に5名の生徒が参加しました。この行事は,県内の定時制高校に通う生徒の代表が集まり,親睦を深め,各校の現状について情報交換するものです。昨年は大震災の影響で実施されませんでした。

今年は,震災からの復興への願いを込め,『七福神』の巨大パネルを製作しました。画用紙に『青』や『赤』などの文字が印字されていて,その上に直径1センチ程のカラーシールを貼り付けます。出来上がった画用紙を,合計77枚つなげると,大きな七福神のパネルになるというものです。



黙々とシールを貼る生徒達(上)と完成品(下)。



職場見学

9月7日(金)、本校の進路行事の一つである『職場見学』が行われました。

これは、実際の職場を見学することで、生徒の職業観や勤労観を育て、進路実現の一助にすることが目的です。

今年度は、白石市の『きちみ製麺』と、仙台市泉区の『仙台市環境局松森工場』を見学しました。



『きちみ製麺』の温麺工場を見学する生徒。頭に被っているのは衛生の為にキャップです。



松森工場内の中央管制室。ゴミ焼却の様子がモニターに映し出されています。

生徒の感想文

金子弥生さん(1年、山形から転入)

職場見学で、きちみ製麺と仙台市環境局松森工場に行きました。きちみ製麺に行って、初めて温麺を見ました。実際に工場の中を見学したり、DVDを見たりして勉強になりました。

た。温麺の歴史や、作られる工程など、よく分かりました。

仙台市環境局松森工場に行きました。ゴミ処理施設は、山形に居る時、一度だけ見学したことがありました。仙台に三箇所あるゴミ処理場のそれぞれで、発電量が違うことが分かり、とても勉強になりました。

今回、初めて職場見学に行って、とても勉強になりました。来年は何処に行くか分かりませんが、楽しみです。

八巻寿生君(2年 南中)

きちみ製麺では温麺を作っていました。温麺はすごく身近な食べ物なのに、知らない事が多いと分かりました。一つは、温麺は油を使わないということです。工場の中では、麺をのぼしたり切ったりする、日頃見られないところが見学できて、勉強になったし楽しかったです。麺をのぼす時、二メートルくらいまでのびるのに驚きました。

次に仙台の松森工場を見学しました。松森工場はゴミ処理をしている所です。ゴミの焼却や、ゴミが運ばれる場所など、工程が見られて良かったです。地球温暖化などの問題があるので、自分でもできるだけゴミは出さないようにしたいと思いました。

高橋直道君(3年 東中)

9月7日、最初にきちみ製麺に行きました。私達三年生はスーツ姿だったので、とても暑かったです。最初は工場での仕事の映像を見せて貰いました。その後、工場内を見学しました。衛生面にとっても気を付けているのだと感心しました。

次に行った松森工場では、ゴミの焼却やリサイクル作業などを見学しました。とてもクリーンな工場でした。大きな穴にゴミが一杯入っていて、それをクレーンで持ち上げて、別の穴に落として焼却し、凄い技術だと思いました。